



地元の少女らにメヘンディーを描かれた吉岡先生の左手

ヘナ、またはヘンナと呼ばれる植物の葉っぱは、髪や肌をオレンジ色に染めるのに用いられる。南アジアなどには昔から、特に女性が、ヘナ染めで肌に模様をペイントする、「メヘンディー」と呼ばれる習慣がある。泥のような状態のヘナできれいな模様を手などに描き、30分ほどしてヘナが乾いたら洗い落とす。そうすると、ヘナを付けたところの肌がオレンジ色に染まり、1～2週間は持続する。ヘナは白髪染めにも用いられるので、南アジアでオレンジ色に髪を染めている人が多いのは、そのためである。

#### 【吉岡先生からのひとこと】

イスラームのお正月などに、女の子は好んでメヘンディーを描きます。基本的に男性はしませんので、男なのに村の女の子たちにメヘンディーを描かれてしまったわたしは、みんなから「お前は女なのか、男なのか？」と笑われてしまいました。